

新着図書からおすすめの5冊

(平成24年6月5日掲載)

貸出と予約の開始は**6月5日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**6月12日(火曜日)**です。

『使える!色彩の教科書 ビジネスに役立つ』

芳原 信 著

洋泉社 刊

街に、モノにあふれている色。商品、店頭のディスプレイ、服装など、色1つで印象がガラリと変わるものばかり。人間の生活、特に消費の部分で非常に多く見られる色のもつ「力」を、実例をあげながらわかりやすく解き明かす。著者紹介：東京都生まれ。宝島社『遊ぶWindows』編集長を務めた。メーカーの広報書籍物の企画編集業務、ウェブサイトへのコンテンツ提供の業務を行なう。著書に『売れる色の理由』など。

請求記号：141.2/Y,87

『働くプロの心の整理術』

長野慶太 著

青春出版社 刊

悩みは紙に書いて客観視せよ、会社に頼るほどストレスは深くなる…。悩みやストレスをかかえながら、成果をあげなければならないビジネスパーソンに向けて、心の平和を取り戻し、仕事や生活の効率を落とさない方法を伝授する。

請求記号：159.4/N,16

『「女子」の時代!』

馬場 伸彦 著

青弓社 刊

生物学的な性差やジェンダーなどの視点からだけでは捉えられないような「女子」の実態を、ファッション誌やマンガなどを具体例にして多角的に観察・紹介。現代社会を軽やかに跳躍する「女子」をテーマにした論考をまとめる。著者紹介：甲南女子大学教員。専攻はメディア文化論、日本近代文学、写真論。

『気づく仕事』

博報堂研究開発局 編

集英社 刊

「文殊の知恵」はなぜ3人なのか、会議をやめて打ち合わせをはじめよう、みんなで見つめ合うための「共同脳空間」という考え方など、博報堂の仕事の本質とも言える「気づく」ことについて、わかりやすく紹介する。

請求記号 : 367.2/B,12

『絵本作家という仕事』

講談社 編

講談社 刊

なぜ絵本作家になったのか? なにを
思って描いているのか? 第一線で活躍す
る15人の作家の仕事場を訪ね、幼少期、学
生時代、家族、環境、つくり手の本音、創作
に対する思い、人生哲学などを聞く。

請求記号 : 726.6/E,35

請求記号 : 675/Ki,99

※本の内容紹介は、図書館流通センター
(TRC) MARCより引用しました。

→ [バックナンバーはこちら](#)

→ [新着図書の一覧はこちら](#)

→ [インターネット予約・貸出につい
てはこちら](#)

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)